

# 水辺のふるさと かつしか 冬号

2024.9  
-2024.11

自然環境レポーター通信



写真のタイトル：コスズメ

撮影場所：清和小学校

写真提供：Ryu



目次

1. 55種の動植物調査結果 . . . . . P 2～5
2. 自由レポート . . . . . P 6～22
3. 季節の写真集 . . . . . P 23～27
4. 魚からの便り . . . . . P 28～31
5. 環境課からのお知らせ . . . . . P 32～33

担当編集の  
ひとこと



こんにちは。環境課自然環境係の大野と申します。

ご紹介が遅れてしまいましたが、前回発行した秋号から、裏表紙に区ホームページへのリンク及びQRコードを記載しております。これをお手持ちのタブレット端末やスマートフォンで読み込むと、「自然環境レポーター通信 水辺のふるさとかつしか」の掲載ページへアクセスすることが出来ます。バックナンバーを読みたい時や、ご自身のレポートが掲載された号をシェアしたい時などにご活用いただければ幸いです。

今年の秋は、一雨一度の深まりようでしたね。カンタンの密やかな鳴き声を聞き、茹で落花生の滑らかな旨味を味わい、赤や黄色の落ち葉をサクサクと踏み、キンモクセイが艶やかな香りを漂わせ、柿は鮮やかな橙色に色づいて、秋らしい服装を楽しみ…短い間でしたけれど、今年は季節の移ろいを五感や心身で感じる事が出来ました。もうすっかり枯れ木賑わう冬になりました。どうぞよいお年をお迎えください。


環境課自然環境係 大野


# 55種の動植物 調査結果（9～11月）

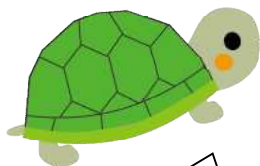
## 【次ページの見方】

- ① 名前（赤字は外来種）
- ② 写真
- ③ 発見された調査区  
（調査区ごとの色で塗り潰し）

① → コアジサシ

② → 














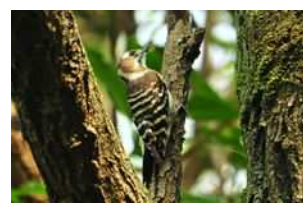






③ → 
























在来種のコアジサシが  
調査区5で発見されたと  
分かるね！




















<p>コアジサシ</p>  <p>○ ○ ○ ○ ○</p>	<p>ウグイス</p>  <p>○ ○ ○ ○ ○</p>	<p>ギンヤンマ</p>  <p>○ ○ ● ○ ●</p>	<p>トノサマバッタ</p>  <p>○ ○ ○ ○ ○</p>
<p>ツバメ</p>  <p>○ ○ ○ ○ ○</p>	<p>コサギ</p>  <p>○ ● ○ ● ○ ●</p>	<p>アキアカネ</p>  <p>○ ○ ● ● ○ ●</p>	<p>クマゼミ</p>  <p>○ ○ ○ ○ ●</p>
<p>オオヨシキリ</p>  <p>○ ○ ○ ○ ○</p>	<p>カワセミ</p>  <p>○ ○ ○ ○ ●</p>	<p>オオカマキリ</p>  <p>○ ○ ○ ○ ●</p>	<p>アブラゼミ</p>  <p>○ ○ ○ ○ ●</p>
<p>コガモ</p>  <p>○ ○ ● ○ ●</p>	<p>コゲラ</p>  <p>○ ○ ○ ○ ○</p>	<p>エンマコオロギ</p>  <p>○ ○ ● ● ○ ●</p>	<p>ツクツクボウシ</p>  <p>○ ○ ○ ● ●</p>
<p>ツグミ</p>  <p>○ ○ ● ○ ○</p>	<p>シジュウカラ</p>  <p>○ ● ○ ● ○ ●</p>	<p>カンタン</p>  <p>○ ○ ○ ○ ○</p>	<p>ミンミンゼミ</p>  <p>○ ○ ○ ○ ●</p>

<p>ニイニイゼミ</p>  <p>○ ○ ○ ○ ●</p>	<p>テングチョウ</p>  <p>○ ○ ● ○ ○</p>	<p>ナガミヒナゲシ</p>  <p>○ ○ ● ○ ○</p>	<p>セリ</p>  <p>○ ○ ● ○ ○</p>
<p>ヤマトタマムシ</p>  <p>○ ○ ○ ○ ○</p>	<p>ツマグロヒョウモン</p> <p>←雄</p>  <p>雌→</p> <p>○ ○ ● ● ●</p>	<p>シロツメクサ</p>  <p>○ ○ ● ● ●</p>	<p>オオバコ</p>  <p>○ ○ ● ○ ●</p>
<p>ナガサキアゲハ</p>  <p>○ ○ ● ○ ○</p>	<p>アカボシゴマダラ</p>  <p>○ ○ ○ ○ ●</p>	<p>スズメノエンドウ</p>  <p>○ ○ ● ○ ○</p>	<p>オオキンケイギク</p>  <p>○ ○ ● ○ ○</p>
<p>クロアゲハ</p> <p>←表</p>  <p>裏→</p>  <p>○ ○ ● ○ ○</p>	<p>アカメガシワ</p>  <p>○ ● ● ● ●</p>	<p>イモカタバミ</p>  <p>○ ○ ● ● ●</p>	<p>カントウヨメナ</p>  <p>○ ○ ● ● ●</p>
<p>ナミアゲハ</p>  <p>○ ○ ● ● ●</p>	<p>スギナ</p> <p>ツクシ ↓</p>  <p>○ ○ ● ○ ●</p>	<p>アレチウリ</p> <p>果実 ↓</p>  <p>○ ○ ● ○ ●</p>	<p>カントウタンポポ</p> <p>反り返らない→</p>  <p>○ ○ ● ○ ○</p>



<p>ツユクサ</p>  <p><input type="radio"/> <input checked="" type="radio"/> <input checked="" type="radio"/> <input checked="" type="radio"/> <input checked="" type="radio"/></p>	<p>ミシシippアカミミガメ</p>  <p><input type="radio"/> <input type="radio"/> <input checked="" type="radio"/> <input type="radio"/> <input checked="" type="radio"/></p>	<p>コガネグモ</p>  <p><input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/></p>
<p>ジュズダマ</p>  <p><input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input checked="" type="radio"/> <input checked="" type="radio"/></p>	<p>ニホンカナヘビ</p>  <p><input type="radio"/> <input type="radio"/> <input checked="" type="radio"/> <input checked="" type="radio"/> <input checked="" type="radio"/></p>	<p>ジョロウグモ</p>  <p><input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input checked="" type="radio"/></p>
<p>ススキ</p>  <p><input type="radio"/> <input type="radio"/> <input checked="" type="radio"/> <input checked="" type="radio"/> <input checked="" type="radio"/></p>	<p>ニホンアマガエル</p>  <p><input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/></p>	<p>メダカ</p>  <p>←カダヤシメダカの特徴に注意</p> <p><input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/></p>
<p>アライグマ</p>  <p><input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input checked="" type="radio"/></p>	<p>ニホンアカガエル</p>  <p><input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/></p>	<p>ブルーギル</p>  <p><input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/></p>
<p>ハクビシン</p>  <p><input type="radio"/> <input type="radio"/> <input checked="" type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/></p>	<p>ウシガエル</p>  <p><input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/></p>	<p>ベンケイガニ</p>  <p><input type="radio"/> <input type="radio"/> <input checked="" type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/></p>

## 今年の秋

## 弥生さくら草

あんなに暑くて耐え難い夏の日々だった。この暑さは未来永劫に続くのか？と思ったりしたが、やはり秋は来た。何時までも暑さが続いたから秋は遅遅とやってきた。夏の装いも中々手放せず夏姿で闊歩した。街を歩けば十月になっても夏姿と秋姿が混ざり合い、多様である。

私が若い頃は十月一日になると途端に夏から冬の装いに替えた。制服には夏と冬の二種類しかない。それは見事に白から黒になった。誰も話し合うことも無いまま衣替えはその頃の常識だった。カラスの中に鶴が舞い降りたようでそんな日は居心地が悪かった。そんな日思い出している。

暑さゆえに秋の虫たちが奏でる音楽はなかなか聴こえて来ない。ひっそりとしている。結局鳴き声の期間は短くて例年と違った。気温の変化で虫の音楽隊も演奏に悩まされたことだろうか？

サルスベリ  
百日紅にも終焉が来た。6月から10月までの永きにわたって咲き続けて観る人を癒してくれた。落ちた花の掃き寄せも簡単で毎朝掃除をしながらの観賞も日課であった。

彼岸花の開花が彼岸に遅れたのは初めてのこと。それでも彼岸の期間に間に合った。彼岸花が咲き揃う姿に少々感動する。昔は死人花と呼ばれ忌み嫌われたから……。鮮やかで艶やか。当時は花だけが線香花火のような形で群れをなして咲く姿に異様な想いがしたのだろう……。

名月に秋の七草のうちホトトギスと、藤袴を供えた。十五夜は煌々として美しかった。西の方にはスカイツリーが鮮やかに輝いている。

更に日が詰まれば菊の花の出番で、今はびっしり蕾を付けて待っている。我が家の佛壇に供えご近所にもお裾分けするのは楽しみで、ご無沙汰をお詫びしてから思い出話の花が咲くのだ。

令和6年10月28日



# 収穫の秋、畔の大豆を刈り取り、田んぼで生きもの探し。

広瀬 温 (調査区2)

酷暑の夏が過ぎ、郷土と天文の博物館「米づくり体験教室」でも収穫の季節を迎えた。

## 10月5日 米の取り込み～田んぼの生きもの観察

9月上旬に稲刈りをし、天日干ししていた米を取り込む予定だったが、前夜の雨で湿ってしまったため、取り込みは先送りとなった。

ボランティアの「田んぼサポーター」さんと一緒に田んぼに入って生きものを探す。無農薬の田んぼにはいろいろな生きものが隠れている。土を掘り起こして板にぶちまけると、エビやドジョウが姿を現す。ドジョウも必死で、子どもたちの指をすり抜け、田んぼに戻ろうとする。格闘の末、丸々と太ったドジョウを捕獲。動物性のタンパク源だ。

区内各所にコンテナビオトープを設置し、水辺に集う生きものの調査をされている千葉大園芸学部作物学研究室の高林さんが子どもたちの質問に答えてくれる。子どもたちが集

まり、専門家に教わり、自分で見つけたものの観察に夢中になる。

## 11月16日 大豆の収穫～田んぼの生きもの観察

6月上旬にポットにタネを蒔き、7月上旬に田んぼの横に植え替えた大豆も実りの季節を迎えた。アスファルトの照り返しが強く、酷暑の悪条件だったが、虫がつかないように隣にシソやバジルが植えられている。南関東で広く栽培されている品種・シャッキンナシ、一粒の種から育った株に多くの実をつけている。

収穫を前にダイズ・クイズが出題される。博物館が工事のため、田んぼ脇での青空授業だ。小峰園子学芸員の話はわかりやすく、大人も熱心に聞き入る。「大豆の七変化」大豆は煮たり煎ったりするだけでなく、発酵させると納豆になる。味噌・醤油にも加工される。豆乳からは豆腐や油揚げになり、寅さんの大好物・がんもどきにもなる。植物性の貴重なタンパク源だ。

大豆の根は太く、引き抜くのに一苦労だ。根を見ると、根粒菌がついている。根粒菌が空気中の窒素を固定し、大豆の成長を助ける。太い根は、張って畦道を守り、燃料にも利用される。循環型の田んぼが葛飾の生態系を支える。田んぼは「米の工場」ではない、「水辺のふるさと」の原風景だ。ユネスコの無形文化遺産「和食」、日本の食卓の根本は田んぼに支えられている。

昭和30年代まで、葛飾には水田が広がっていた。田んぼで遊びながら経験しながら、葛飾の子は育ってきた。江戸以前の環境を残す、博物館前の田んぼで令和の子どもたちが育っていく。



# 荒川放水路通水100年、東京低地を歩き回り、環境と防災を考える。

広瀬 温 (調査区2)



2024年秋、荒川放水路は通水100周年を迎え、東京低地の各区で記念行事が催された。江戸～明治期以来、水害と戦ってきた東京だが、温暖化により激甚化する災害に備え、さらなる対策が求められている。

## 北区赤羽の岩淵水門を歩く

10月12日「荒川放水路通水100周年アニバーサリーフェス」に参加。この夏、旧岩淵水門(赤水門)が重要文化財に指定され、赤水門の活用と保全を考えるシンポジウムが開かれた。岩淵水門は大正5年(1916)起工、8年後の1924年に竣工する。大正12年(1923)の関東大震災で、工事中だった堤防は28カ所が崩れたり裂け目が入ったが、最新の鉄筋コンクリート構造の岩淵水門は無事だった。設計したのは、パナマ運河の建設にも参加した青山士(あきら)。小学校でも習う、首都東京を築いた最大の功労者のひとりだ。



高度成長期には東京東部の地盤沈下が進み、水門の老朽化もあり、約30m下流に新岩淵水門(青水門)が計画され、昭和57年(1982)完成した。

生まれ育った浦和から都内に通学・通勤していた頃、荒川を渡るときに見える赤水門と青水門は見慣れた景観だった。年に1回は大雨で高水敷に水が乗り、グラウンドは水浸しになった。堤外のお寺の墓地が水没した年もあったが、今はスーパー堤防の上に移転している。



シンポジウムで東京を守る岩淵水門の重要性を再認識した後、実際に川に出て、ゴム製のEボートを体験。8人ほどで漕いで、赤水門・青水門の周辺を回る。荒川でボートに乗るのは初めての経験。風で水面が波立ち、手を浸すと川の流れが感じられる。昭和のはじめ、荒川放水路には水練教室が12カ所ほどあり、戦後すぐまでは泳げたという。きれいになったとはいえ、清流とは言いがたいが、この9月、あらかわ学会が主催し、小菅

緑地公園から上流の足立区千住の虹の広場まで1.5kmの遠泳に37名が参加したという。

## 江東区の旧中川を歩く

江東区の中川船番所資料館では9月から特別展「荒川と江東～江東の治水100年」が開催され、11月には4回シリーズの連続講座が開かれた。

荒川放水路開削前、中川はくねくねと蛇行しながら、東京湾に注いでいた。放水路によって分断された下流部は旧中川として墨田区・江東区と江戸川区の区境を静かに流れる。中川資料館は旧中川と小名木川が交わる地点に立つ。江戸時代は塩や米を運ぶ船が通る交通の要所だった。特別展を見て改めて驚くのは、荒川放水路建設のスピード感だ。明治43年の大水害の翌年には事業に着手、2年後には工事が開始されている。

週末の午後、旧中川には思い思いに「水辺のふるさと」を楽しむ人々が集まる。秋も深まり、ハゼは小ぶりになる中、15cmもあるハゼを釣り上げる小学生がいる。上流に歩いていくと、釣り人の側から離れない

西暦	和暦	内 容
1910	明治43年	大水害を契機に荒川の改修計画が立てられる。
1911	明治44年	放水事業始まる。測量・調査・用地収用に着手。
1913	大正 2年	人や馬を使って高水敷を掘り始める。
1914	大正 3年	新渡瀬船を使って河口部より放水路を掘り始める。
1916	大正 5年	岩淵水門起工。
1917	大正 6年	9月30日、記憶的な高水で船舶・機械流出設備。
1918	大正 7年	新川水門、姥瀬水門起工。
1919	大正 9年	小名木川開門、隅田水門起工。
1921	大正11年	木下川、中川水門起工。綾瀬川通水。
1923	大正12年	9月1日、関東大震災。28箇所が堤防が崩れたり、亀裂が入る。
1924	大正13年	岩淵水門竣工。荒川放水路全線に水を通す。10月12日通水(この年は大水から100年)
1930	昭和 5年	荒川放水路工事が完成する。





コサギとダイサギに遭遇。近寄っても逃げない。ハゼではなく小魚がかかると、投げられた魚に向かって2羽が突進し、勝ったほうがあっという間に飲み込む。おこぼれに預かるほうが自分で獲

物を狙うよりも早いのだろう。

## 新小岩公園～葛飾あらかわ水辺公園の再生に向けて

11月下旬、自転車で新中川～新小岩公園～荒川左岸の河川敷を回る。新中川堤防の耐震補強工事は、ずいぶん上流部まで進んでいる。夏には人工ワンドの観察ができそうだ。反面、新小岩公園の防災のための嵩上げ計画は白紙に戻り、再整備はなかなか進まないようだ。

平井大橋から河川敷に降りると、1500ミリの望遠レンズを構えている男性がいる。ファインダーを覗かせていただくと、背が青く胸から腹にかけて横筋の模様がある。イソヒヨドリ、葛飾区でもよく見られる種だという。放水路の自然はなかなか豊かだ。

2023年7月にレポーターの研修会が開かれた葛飾あらかわ水辺公園。2000年に整備されたワンドも高水敷に戻りつつある。中途半端なワンドづくりでは自然のレジリエンスには敵わない。

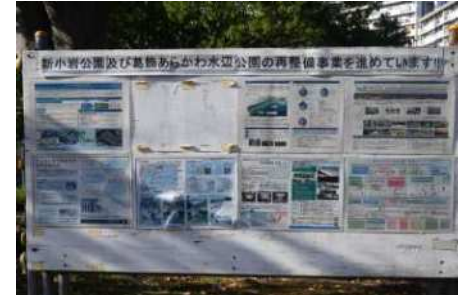
上流へ進むと、休日になると野球やサッカーに励む少年少女が集まるグラウンドが広がる。荒川放水路の魅力は何とんでも空間の広さだろう。隣ではハナショウブがボランティアの手により3年かけて育てられている。江戸情緒が楽しめる堀切菖蒲園とはまた違ったワイルドな魅力がある。河川敷の多様性を楽しみたい。

荒川放水路で最も心配されている京成本線の鉄橋は2037年完成を目指して工事が進む。あと12年、完成は次の巳年になる。

あらかわ水辺公園の再整備に向けては、江戸川の自然環境を考える会の知恵を借りるのが得策かと思う。田中利勝さんは、国交省江戸川河川事務所と打ち合わせを重ね、江戸川上流～中流～下流の河川敷を修景し続けている実績がある。また、水辺公園の生態系、生物多様性の維持には、市原みずよ代表を中心に水元ネイチャープロジェクトの構想力・実行力が頼りになるだろう。

10月21日、葛飾区環境審議会を傍聴する。2026年度春に開催される「全国みどりと花のフェアかつしか」の基本計画について、有識者から「葛飾ならではの水辺の植物を視野に」との提言があった。まさにその通り、フェアの会場のひとつに新小岩公園～あらかわ水辺公園を加えてはどうだろうか。事業規模も大きいので、それに先立ち、柴又、金町に続き、新小岩を区内3例目の「かわまちづくり」に加え、国交省・東京都・隣接する江戸川区と連携して取り組むのも突破口の一手だろう。

2025年、防災はもちろん環境の施策もスピード感が必要となる。昭和100年の今年、不屈の昭和スピリットがあれば、前に進める。「水辺のふるさと」の再生に向け、今年もみんなで楽しみながら、取り組んでいきましょう。





自然観察レポート 9月～11月 平和橋周辺の鳥さんたち  
高橋雅子 調査区2



隣家のゴイサギさんと、ユリカモメ、下はヒドリガモとジョウビタキです。



おまけ 12月なのにヒマワリが咲いている！！



## 鳴く虫の女王

「カントン」と秋に鳴く虫と聴く会：西亀有編に参加して

(上の会本文では『カントンの会』とする) 令和6年9月18日

調査区3 神山隆敬

昨夜は十五夜、今夜は満月とのことで、今夜も天気は持ってほしい  
と思いながら、仕事から帰宅すると、とりあえず、天気は持っていて  
くれて 18 時を過ぎた頃、『西亀有せせらぎ公園』に自転車で向かっ  
た。場所が確実にわかっていないので、ゆっくりとせせらぎ公園を丁  
字路に走っているとテントがあり、「ホッと、一息...」

皆さんが迎えてくれて、プラケースの中の鳴く虫やバッタを見せて  
頂き、その中にカントンがいた!! 1 cm位の透明な緑と言う様な、  
品の高い虫の様に思えた。

「この虫達はこの辺で...??」と聞くと、「この虫は木根川橋の辺り  
で採れた虫です。」と聞くと、たかが西亀有でやる『カントンの会』  
でも、その段取りと準備は大変なものだと、つくづく感じる一言であ  
り、我が家では「いつまでも、子供みたいに...」と言われても、私は  
参加したいものだと感じました。余談でしたが...

そんな、こんなで 18 時半が近づくと、子供達やそのお母さんも集

まり、みんなでプラケースを覗いていると、脱皮したバッタの皮があり、「入れた時は、無かったのに、入れてから数時間  
での中で脱皮したバッタがいるのですね？」と、  
バッタの皮を見せてくれました。



そして無事に 18 時半に『**カンタンの会**』が始まりました。司会者の岡田さんがまだ、『カンタン』と講師『佐久間先生』の方に付いて説明している時から先生にマイクが変わった頃に、小学生が...

「あっ、トンボっ!？」と言って、トンボを無傷のまま、素手で捕まえて、講師の佐久間先生に見せると...

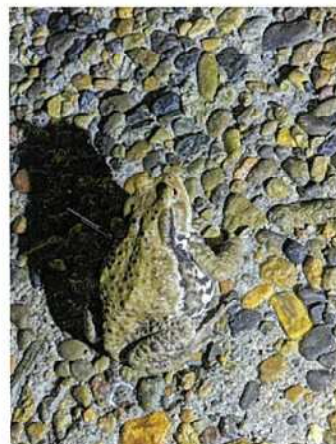


「この、トンボは**ウスバキトンボ**だねえ。」と教えてくれました。

それから、先生よりクイズやゲームを兼ねての、まずは『**カンタンの生息地**』をスタートして『西亀有せせらぎ公園』を歩き始め、先生から、鳴く虫の鳴き方でも「自分では羽をこすり合わせて...」と思いきや...「こんな方法で虫達は声を大きくしている」との方法を葉っぱ使



って教えて頂きました。その頃から、雨が降って来て、それでも鳴いているアオマツムシ、エンマコオロギなどの説明がありましたが、雷もなって来たので「テントの方に戻りましょう」と、テントに向かうと、途中で**ヒキガエル**が現れて子供達もビックリ、お母さん達、もっと、ビックリ!!**ヒキガエル**も最後にはテントの中に入って来て、「**虫達、好きって言うなら、俺も負けちゃあ、いられないぜ!**」とでも言うように、**ヒキガエル**まで参加して、さあ、これから『西亀有せせらぎ公園』をと言う時に、途中で解散となりました。町中で、上千葉砂原公園の近くで、しかも農産高校を囲む『西亀有せせらぎ公園』の途中での『**鳴く虫の女王「カントン」**と**秋に鳴く虫を聴く会**』も残念にも最後までは出来ませんでした。様々な動物達も出てきて、非常に濃く、二度と無い、自然観察会となりました事を、ここに期しておきます。



● 葛飾区自然環境レポーター 自由レポート ●

調査月

2024.09~2024.11月

名前

むしあお

● 観察日：9/15

● 調査区：5-26（水元公園）

【昆虫】

アオスジアゲハ、キマダラカメムシ、ナミアゲハ、ハネナガイナゴ、オンバッタ、ツクツクボウシ、アジアイトトンボ、シオカラトンボ、ヤマトシジミ、ベニイトトンボ、オオヒラタシデムシ、セグロアシナガバチ、アオバハゴロモ、クワコ（幼虫）オオホシカメムシ、エゾカタビロオサムシ、コノシメトンボ、ハスモンヨトウ、ホシホウジャク、ツマアカシャチホコ

【鳥類】

ハシボソガラス、ハシブトガラス、ムクドリ、カワウ、ダイサギ

【植物、菌類】

ヒイロタケ、アレチウリ、ヤブラン、ミズヒキ

【クモ】

ジョロウグモ



色鮮やかなヒイロタケ



アジアイトトンボ ♀



ベニイトトンボ 交尾



クワコ幼虫



エゾカタビロオサムシ（奥に写っています…）

水元公園で初めてオサムシを見た。

すばしくて全然うまく撮れなかったが美しい虫！



ハスモンヨトウ



ツマアカシャチホコ



●観察日：10/13

●調査区：4-22（新宿）

10月に入ると、シジミチョウの仲間が元気に飛んでいるのをよく見かける。

【昆虫】

ヤマトシジミ、ツバメシジミ、モンキチョウ、ウラギンシジミ、ウラナシジミ、ナミアゲハ、ホシホウジャク、イチモンジセセリ、モンシロチョウ

【鳥類】

モズ

●観察日：10/20

●調査区：4-19（鎌倉）

鎌倉公園にて、レポーター研修会に参加。

野草園の広さに対して見つけられた生き物の数が予想以上で驚いた。

植物の種類が豊富だと、それを利用する生き物が集まり、全体として生物相が豊かになるというのがよく分かった。

アシタバにキアゲハの終齢幼虫がわんさかついていた！



キアゲハ幼虫



ハギの葉に産み付けられたシジミチョウの卵

●観察日：11/3

●調査区：4-22（新宿）

トリバガの仲間



●観察日：11/23

●調査区：5-26（水元公園）

11月下旬だが暖かい日。キボシカミキリを発見。





氏名	K・N	町名	東金町	調査区	5
(水元公園正面入口～養魚場入口間の指定種の植物と昆虫)					
鳥類は大橋周囲～小合溜					
種類	植物・蝶々・野鳥 (令和6年 9月・10月・11月)				

種類	9月	10月	11月	種類	9月	10月	11月
セイヨウタンポポ	1	1	0	アゲハチョウ	3	2	0
ツユクサ	多数	多数	0	モンシロチョウ	2	2	2
シロツメクサ	多数	5	0	アオサギ	1	1	1
シジミチョウ	10	5	3	コサギ	1	1	3
クロアゲハチョウ	1	0	0	カモ類	10	20	300以上
				ユリカモメ	0	0	不明

(公園内でもセイヨウタンポポの開花が少ない)

### 昆虫情報

① 11月5日・東金町4丁目の路地で  
セミの死骸発見、こんな時期に  
どうしたのか?



② 10月下旬～11月20日、

自宅のキャベツの苗が穴だらけ、観察するとイモムシがいた。どんな成虫になるか？  
撮影してみた。発見時より大きくなっているが、形は数日たってもあまり変化なしで  
あきらめる。アゲハチョウや蛾などをよく見かけるから親か？

・種類が異なる虫も発見したが、成虫への変化はどの虫からも観察できず残念だった。



家庭菜園をしている友人から、キャベツと白菜の苗は虫類がもっとも好きな野菜だということを教えてもらった。香りのある野菜は大丈夫らしい。  
丸まったキャベツや白菜など大きな野菜をお店で何気なく購入していたが、  
農家さんの虫対策のご苦労を実体験し、ありがたく食べようと思った。



③ 11月14日公園の観察地では久しぶりにバッタをみた。



### 植物情報

① 花の二度咲きが当たり前になってきたが、去年は自宅庭の椿とビワの開花が記録されているが、今年は咲かなかった。(ビワは令和二年12月も咲いている)

### 野鳥情報

① 渡り鳥は10月初旬には見られなかったが、11月13日は溜池に多数いた。  
② コサギも珍しく3羽いた



### 地域猫情報

① 珍しく中年の男性がスティックの餌を直接あげていた。  
「チビちゃんにはいつもあげているのですか？」  
「時々だね、なでさせてくれるので可愛い」  
「チビちゃん、ちゃんとお礼を言ってね？今後もよろしくだね」  
② 公園内には多数の猫がボランティアさんに餌をもらっているが固形物が多いから、スティックは珍しいと思った。





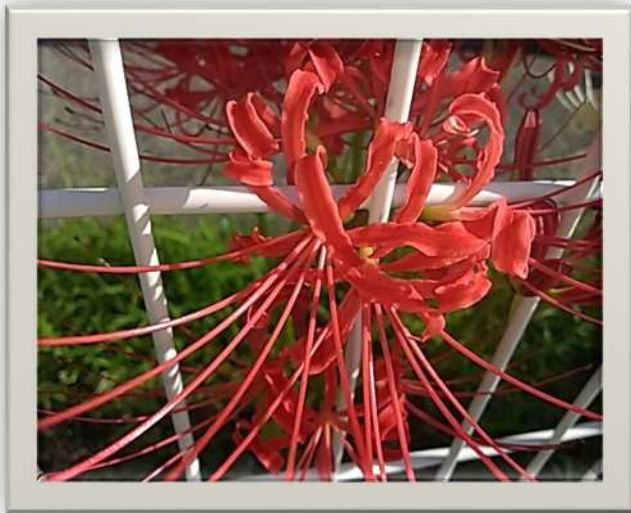
## 秋を生きています！らしくない秋を



9/27 アカボシゴマダラ 水元3丁目



10/2 ヒガンバナ 水元3丁目



↑10/3 ヒガンバナ 水元2丁目↑



10/3 イチモンジセセリ 水元3丁目↓



地球温暖化をまざまざと日々の暮らしの中で体験してしまうことになった、今季の秋だったように感じます。毎年曆の上で、「彼岸」の文字を確認するやいなや「暑さ寒さも彼岸まで」の、季節の変化を知らせてくれる日本の季節用語をシグナルに、それに合わせた暮らし方を工夫していたのですが、どうもじっくりいかななくなっています。

9月の終わりのアカボシゴマダラが、芝生の上で羽を休めていたかのように見えますが、水分補給の行動だったのかな？10月の初めには水元3丁目の色々な場所で、ホシホウジャクを見つけました。(マリーゴールド・地面の上の紙・駐車禁止の表示ポールに)マリーゴールドに止まるのは理解できるのですが、ポールや紙は、ホシホウジャクは、どう判別したのでしょうか？



# ホシホウジャクここにも！



10/6 ホシホウジャク 水元3丁目



## 生物多様性勉強会で秋探し

11/16 ノブドウ 埼玉県自然学習センター  
の北本自然観察公園

観察公園内の樹木根本近くの アシナガバチ



公園の森散策



公園の地形

ロゼット状態のタンポポ



私は、葛飾区生物多様性推進協議会員です。第11回勉強会は、11月16日に埼玉県自然学習センター（北本自然観察公園）で開催されました。調査区5のエリア外ですが、今季号に取り入れます。人の手で維持管理が必要な「里山」の自然環境を学ぶ場所として、格好の場所でもありました。秋の自然観察プログラムには「その気になれば、きっと見つかる！」「その気になって、運が良ければ見つけれられるかも？」の興味を持たせる観察へのいざないが、うれしくもありました。そして最大のテーマは、「なぜ自然は大切か？」を一連の活動を通して学ぶことができた勉強会だったと感じました。これからもこのような勉強会や研修会に参加し、自然観察レポート作成にも活かして生く覚悟です。



大谷 悦子	町名：南水元	調査区：5-28
-------	--------	----------

【9月】

コミカンソウの仲間は何種類かあり、この辺では、コミカンソウとナガエコミカンソウが見られるようです。(8月に報告したのは、ナガエコミカンソウの方でした。)

ナガエコミカンソウはあちこちにありましたが、コミカンソウは原田小学校、花の木小学校に面した道路の脇にあり、それ以外は見かけませんでした。9月の末になると、実がオレンジ色になってきて、名前の通り、小さな蜜柑のようでした。

オオニシキソウはオニバス池の近くにありました。小さな花で、花のアップと全体の写真です。

クズの花は水辺の里のあたりです。



9/12 南水元  
コミカンソウ



9/15 水元公園  
オオニシキソウ



9/15 水元公園  
オオニシキソウ



9/15 水元公園  
クズ

ジャンボタニシの卵は水生植物園にありました。実物はもっと鮮やかなオレンジ色でした。ハッカの葉はさわやかな香りがしました。ナンバンギセルはグリーンプラザの薬草園にありました。

きのこはきれいに円形に並んでいました。これをフェアリーリングというそうです。



9/4 水元公園  
ジャンボタニシ (卵)



9/4 水元公園  
ハッカ



9/4 水元公園  
ナンバンギセル



9/4 水元公園  
きのこの一種

以上

## 【10月】

今月は水元公園に行く機会があまりなく、近所の草花を中心に観察しました。花は意外に少なく、キンモクセイ、セイトカアワダチソウ、キバナコスモスが目立ちました。

道端のコミカンソウは赤く色づいて、ますます蜜柑に似てきました。さわるとポロリと実が落ちました。

ナガエコミカンソウは葉が少し黄色くなったものもありましたが、葉も実もまだまだ青いです。道端の草はだんだんに刈られてゆき、10月下旬にはコミカンソウはなくなってしまいました。ナガエコミカンソウも大分減りました。でも、実がたくさん落ちたようでしたので、来年また見られるでしょう。

ヨロイグサは雑草の茂った公園の花壇にありましたので、自生か栽培か区別できませんでした。

生垣のシャリンバイは実が沢山付いていて目立ちました。



10/9 南水元  
コミカンソウ



10/9 南水元  
コミカンソウ (実)



10/21 南水元  
ヨロイグサ



10/15 南水元  
シャリンバイ (実)

この季節、いい匂いを漂わせているのがキンモクセイです。あちこちにありました。似た花で白く、いい匂いなのがギンモクセイや柃の仲間です。セイヨウヒイラギを見かけました。

面白い実を付けているのが、フウセンカズラです。実の中には直径4ミリくらいの黒い種があります。白い♡模様があり、かわいいです。花も白くて小さくてかわいいです。フウセントウワタもトゲトゲの丸い実がついて面白いです。



10/15 南水元  
キンモクセイ



10/24 南水元  
セイヨウヒイラギ



10/24 南水元  
フウセンカズラ



10/24 南水元  
フウセントウワタ

以上



【11月】

今月は、水元公園グリーンプラザの周辺で見かけた花を中心に報告します。周辺には、多くの実を付けた植物がありました。イシミカワ、センニンソウ、センダン、サイカチ、アケビ、ミツバアケビ、トベラ、クサギ、フジキ、ゴキヅル、コブシ、マユミ、ムク、エノキ、ピラカンサなどです。



11/6 水元公園  
イシミカワ (実)



11/6 水元公園  
センニンソウ (実)



11/6 水元公園  
センダン (実)



11/6 水元公園  
サイカチ (実)

花は少ないように思いましたが、グミ、イヌタデ、サクラタデ、サザンカ、ビワ、カタバミ、タンポポ、ヒメジョオンなど、季節の花の他に、季節外れのものもちらほら見かけました。また、カラスノエンドウはもう芽が出ていたり、ウラジロチチコグサのロゼットがあったりしました。



11/6 水元公園  
グミ (花)



11/24 水元公園  
イヌタデ



11/25 南水元  
カラスノエンドウ (芽)



11/17 水元公園  
ハラビロカマキリ (卵)

以上

# 季節の写真集 (9~11月)



「葛飾区に住んでいて、ワシの名も知らんのか!!」 キマダラカメムシ 神山隆敬  
10/10 亀有香取神社道祖神



「高く飛んでみたら、草も無い所へ来てしまった!」 シブイロカヤキリ 神山隆敬 11/18  
亀有4丁目アパート6階



ソメイヨシノの蕾 鈴木園未 9/20 藤塚西公園



ソメイヨシノの蕾 鈴木園未 9/20 藤塚西公園



# 季節の写真集 (9~11月)



キマダラカメムシ幼虫 下山田隆  
9/15 水産試験場



ジャコウアゲハ幼虫 下山田隆  
10/5 水産試験場



ホソミオツネトンボ 下山田隆  
11/17 水産試験場

「このへちまを食べたのは誰だ!？」  
へちま 有泉桂子 9/9 堀切7丁目





# 季節の写真集 (9~11月)



「嫁いだ娘が子どもと登園途中に「彩雲」  
を発見！」 有泉桂子 10/30 堀切



コスズメ Ryu 9/3 清和小学校



ツマグロヒョウモン Ryu  
10/23 お花茶屋

「紅葉あか」 Ryu 11/16 小菅





# 季節の写真集 (9~11月)



アカボシゴマダラ 佐々木定治  
9/27 水元3丁目

「コスモスとスカイツリー」  
R 10/13 堀切水辺公園



「サクラ咲く」 R 10/24 お花茶屋公園

「紅葉きいろ」 R 11/20 水元





# 季節の写真集 (9~11月)



「今何時？」 タケノホソクロバと  
トケイソウ 瑛ちゃん 9/1 金町



「夕暮れ時のベンケイガニ」 ベンケイガニ  
S.Fujiwara 9/12 アリオ亀有側の橋の下



「見つかった！」 ハラビロカマキリ  
瑛ちゃん 10/15 西水元



「のんびりいきましょう」 カタツムリ  
瑛ちゃん 10/28 柴又



葛飾柴又新八水路 魚からの便り-326

調査回数 調査日 地点	328			備 考
	2024/9/23			
	本流	新八水路	新八ワンド	
1 ア シ シ ロ ハ ゼ			1 26	
2 オ イ カ ワ	22 62-131			
3 オ オ ク チ バ ス	1 171			特定外来生物
4 カ ダ ヤ シ	1 13	58 14-44	46 10-30	特定外来生物
5 カ マ ツ カ	21 93-116			
6 カ ム ル チ ー	1 555			
7 ギ ン ブ ナ	1 103	3 26-78		
8 コ イ	1 163			
9 コ ク チ バ ス	7 119-167			特定外来生物
10 ゴ ク ラ ク ハ ゼ	2 25-54			
11 タイリクバラタナゴ		6 17-28		
12 ニ ゴ イ	4 84-284			
13 ヌ マ チ チ ブ	29 21-59			
14 ハ ス	1 150			
15 ブ ル ー ギ ル	4 121-135			特定外来生物
16 ボ ラ	18 113-370			
17 マ ハ ゼ	37 75-137			
18 マ ル タ	1 26			
19 メ ダ カ		4 22-28	7 23-31	
20 モ ツ ゴ	1 74			
一 ヨ シ ノ ボ リ 族	1 26			
計	17種類153個体	4種類71体	3種類54個体	

- ・ 上段の数字は個体数、下段の数字は全長の最小-最大範囲（単位：mm）
- ・ 江戸川本流、新八水路、新八ワンドあわせて20種類278個体の魚類が採集されました。
- ・ 晴れ、気温26.1℃、水温 本流24.0℃、新八水路24.3℃、新八ワンド25.8℃（14:10頃測定）
- 「参考」江戸川の水位（観測所：千葉県市川市市川 市川根本排水機場江戸川側）  
（10:00）1.40m（12:00）1.16m（14:00）0.95m

【参加者コメント】

- ・ 新聞に掲載された記事を見て参加して下さった方がいました^^！  
なかなかのサイズのコイにかぶせたのですが、抜かれました（×2名）まだ水温が高いので、元気です。カマツカがたくさん。出水で流されてきたのでしょうか。（KI）
- ・ 駆除は仕方なくても、食べてやればよかった。後悔しきりです。（MT）
- ・ 親子の参加が3組もあり賑やかでした。（SI）

【今後の調査日】10月13日（日） 11月3日（日） 12月14日（土）

2025年 1月13日（月・祝） 2月16日（日） 3月29日（土）

HP（<http://shigenori1.jimdo.com/>）新八水路「自主生物調査団」【編集：一澤成典】

葛飾柴又新八水路 魚からの便り-327

調査回数 調査日 地点		329			備 考
		本流	新八水路	新八ワンド	
1	ウ ナ ギ	1 500			
2	オ イ カ ワ	5 19-121			
3	カ ダ ヤ シ		83 14-33		特定外来生物
4	カ マ ツ カ	3 95-115			
5	カ ム ル チ ー		1 174		
6	ギ ン ブ ナ		1 47		
7	コ ク チ バ ス	2 186-205			特定外来生物
8	ス ズ キ	1 175			
9	タイリクバラタナゴ		14 14-31		
10	ド ジ ヨ ウ		1 71		
11	ニ ゴ イ	2 120-160			
12	ヌ マ チ チ ブ	28 25-55			
13	ハ ス	2 105-172			
14	ボ ラ	45 115-375			
15	マ ハ ゼ	6 75-110			
16	メ ダ カ		4 26-30		
17	モ ツ ゴ	1 97	1 50		
計		11種類96個体	7種類105体	0種類0個体	

- ・ 上段の数字は個体数、下段の数字は全長の最小-最大範囲（単位：mm）
- ・ 江戸川本流、新八水路あわせて17種類201個体の魚類が採集されました。（ワンドには水がなく採集できず）
- ・ 晴れ、気温25.5℃、水温 本流23.9℃、新八水路21.3℃、（15時頃測定）  
「参考」江戸川の水位（観測所：千葉県市川市市川 市川根本排水機場江戸川側）  
（10:00）0.35m（12:00）0.81m（14:00）1.35m

【参加者コメント】

- ・ モズがワンドの中の島や、対岸からも響く声で鳴いていて、カニも減って来て、お祭りの笛太鼓も聞こえ、秋の到来を感じました。（KI）
- ・ 新聞記事を見て参加した親子も含め3組の親子の参加で大賑わいだった。開始時は川底が干上がっていて、徐々に水位が上がってきたが、流れがないためか水がずっと濁っていた。（SI）

【今後の調査日】 11月3日（日） 12月14日（土）

2025年 1月13日（月・祝） 2月16日（日） 3月29日（土）

HP（<http://shigenori1.jimdo.com/>）新八水路「自主生物調査団」【編集：一澤成典】



葛飾柴又新八水路 魚からの便り-328

調査回数 調査日 地点		330			備 考
		2024/11/3			
		本流	新八水路	新八ワンド	
1	オ イ カ ワ	6 70-145			
2	カ ダ ヤ シ		50 14-40		特定外来生物
3	カ マ ツ カ	5 102-113			
4	カ ム ル チ		1 232		
5	ギ ン ブ ナ	8 72-125			
6	ゲ ン ゴ ロ ウ ブ ナ	1 105			
7	コ	1 153			
8	タイリクバラタナゴ		1 22		
9	デ メ モ ロ コ	10 53-82			
10	ド ジ ヨ ウ		1 135		
11	ニ ゴ イ	1 215			
12	ヌ マ チ チ ブ	49 28-65			
13	ハ	1 103			
14	ボ	9 133-340			
15	マ ハ ゼ	5 85-133			
16	メ ダ カ		4 25-29		
計		11種類96個体	5種類57体	0種類0個体	

- ・ 上段の数字は個体数、下段の数字は全長の最小-最大範囲（単位：mm）
- ・ 江戸川本流、新八水路あわせて16種類153個体の魚類が採集されました。（ワンドには水がなく採集できず）
- ・ 晴れ、気温21.3℃、水温 本流17.9℃、新八水路20.0℃、（14時30分頃測定）  
「参考」江戸川の水位（観測所：千葉県市川市市川 市川根本排水機場江戸川側）  
(10:00)1.30m (12:00)1.00m (14:00)0.90m

【参加者コメント】

- ・ 新八前に、沈水植物の小群落ができていました。昼過ぎ、オオタカ？らしい猛禽に、ヒヨドリが一羽でモビングして対岸に追いやっていました。強い。(KI)
- ・ 大雨の後で、どんな魚が取れるか期待しておりました。カムルチーが本流、水路と3回連続採集されて江戸川には定着しているのだと思いました。(IS)
- ・ カマツカの採集個体数が増えている。雨が多かったので河床が洗われて砂や砂礫底が安定して形成されているためではないだろうか。柴又の江戸川は下流域に見えるかもしれないが、行徳の水閘門が開放されれば中流域の末端であるから、オイカワ、カマツカが採れるのは当然なのだ。  
ゴクラクハゼが採れなかった。時期から考えて産卵移動とは思えず彼らの動向は興味深い。(YK)

【今後の調査日】12月14日(土)

2025年 1月13日(月・祝) 2月16日(日) 3月29日(土)

HP ( <http://shigenori1.jimdo.com/> ) 新八水路「自主生物調査団」【編集：一澤成典】

# 葛飾柴又新八水路 魚類出現状況

No.	標準名・地点	調査回数		2016		2017		2018		2019		2020		2021		2022		2023		2024		328	329	330
		1-48	49-106	107-163	164-223	224-235	236-247	248-258	260-271	272-283	284-295	296-307	308-319	320	321	322	323	324	325	326	327			
		回	回	回	回	回	回	回	回	回	回	回	回	回	回	回	回	回	回	回	回			
1	イセゴイ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
2	ウナギ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
3	ワカサギ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
4	アユ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
5	サケ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
6	タモロコ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
7	スズキ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
8	アサギ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
9	ヒゲイ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
10	ニギハヤヒ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
11	カマツキ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
12	ツツキ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
13	モツ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
14	マル	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
15	ウグ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
16	カワムツ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
17	オカ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
18	ハス	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
19	ワタ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
20	ハク	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
21	キン	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
22	ギン	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
23	ゲン	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
24	ケン	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
25	コイ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
26	コイ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
27	ヤリ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
28	ヤリ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
29	ア	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
30	ア	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
31	ド	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
32	カ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
33	ア	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
34	ナ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
35	ク	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
36	メ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
37	カ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
38	カ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
39	メ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
40	カ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
41	ク	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
42	ス	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
43	オ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
44	コ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
45	フ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
46	シ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
47	ヒ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
48	マ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
49	チ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
50	シ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
51	ク	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
52	ク	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
53	ビ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
54	ウ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
55	ス	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
56	マ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
57	ア	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
58	ヒ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
59	カ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

●・・・初採取  
▲・・・和名が白ノボリ(褐色型)からクロダハゼに変わりました。



## 環境課からのお知らせ

### ★自然環境レポーター研修会を開催しました！★

令和6年10月20日(日)、「秋の鎌倉野草園で季節の変化を探そう」をテーマに、鎌倉公園野草園にて秋の自然観察会を開催しました。

鎌倉公園は、野草園のある南側を2022年にリニューアルオープンし、人と生きものの憩いの場を目指して取り組んでいます。2月にもこちらで研修会を行いましたので、今回は季節での違いにも着目しつつ、野草園管理所の専門員である講師にご案内いただきました。

野草園に植えられているマメ科植物の周囲には、たくさんのシジミチョウが飛び交っていました。これはアゲハチョウの幼虫がミカンの葉を好むように、シジミチョウの幼虫がマメ科の植物を好むため、産卵目的もあって集まっているのです。このように観察しながら野草園の維持・管理についてお話を伺い、また、グループに分かれて「55種の動植物の指標種」(P2~5参照)リストを基に生きもの探しも行いました。

秋らしい晴れやかな涼しさの中、植物とそれに関連する知識を学びつつ、レポーター同士が観察して気付いたことや互いの経験を共有しあえた研修会となりました。ご参加いただいた皆さま、ありがとうございました。

今後も研修会を開催していく予定ですので、レポーター同士の交流やレベルアップのためにも、皆さまのご参加をお待ちしております。



▲ウラナミシジミの卵(赤丸)  
と吸蜜の様子

▼座って話し合う自然環境  
レポーターの皆さま



## 環境課からのお知らせ

### ★新ハ水路で魚類調査を行います★

自主生物調査団が、新ハ水路にて魚類調査を行います。調査の結果は、「魚からの便り」として水辺のふるさとかつしかに掲載しています。

【日時】 1月13日（月） 2月16日（日） 3月29日（土）

いずれも10時～16時ごろ

【場所】 江戸川河川敷 ※事前連絡をお願いします。

【持ち物】 着替え、昼食、飲み物、首に巻くタオル、短くないソックス  
詳しくは、HP (<https://shigenoril.jimdoweb.com/>) をご覧ください。



### ★自然環境調査報告書（55種以外）★

自然環境レポーターの活動には、区内で見られる55種以外の動植物についての調査報告も含まれています。ご報告いただいた中からいくつか紹介します。  
〈見方〉◆動植物種名・調査月・調査場所（P2参照）・気が付いたことなど

- ◆オオスカシバ・9月・調査区3・シマトネリコに今年も大きな幼虫。
- ◆ジョウビタキ・10月・調査区5・今年は10月22日に飛来を確認。
- ◆コマツモムシ・11月・調査区5・水辺のさとの水中に浮いて、オールのような足をときたま動かして泳いでいました。
- ◆オナガ・11月・調査区2
  - ▶オナガ（写真提供：神山隆）
- ◆ヒヨドリ・10～11月・調査区3・朝夕と遠くの個体と話しています。





今号にご協力いただいた皆さま（敬称略）

R	有泉桂子	石戸雅彦
瑛ちゃん	S.Fujiwara	江戸川の小鮒
大谷悦子	神山隆敬	K・N
佐々木定治	下山田隆	鈴木園未
高橋雅子	田村ひろ子	T・K
となりの庭	濱野祥	ひまわり
広瀬温	むしあお	弥生さくら草
ゆきひめ	Ryu	

自主生物調査団（編集：一澤成典）

ありがとうございました！

「水辺のふるさとかつしか」第331号  
（葛飾区 自然環境レポーター通信第283号）

令和6年12月末日 発行

葛飾区環境部環境課自然環境係

〒124-8555 葛飾区立石5-13-1

代表電話 (3695)1111

直通電話 (5654)8237

FAX (5698)1538



▲区のホームページにも  
掲載しています。

(URL)

<https://www.city.katsushika.lg.jp/kurashi/1000062/1030304/1023084.html>



「水辺のふるさとかつしか」の内容について、  
お間違い等お気づきの点がありましたらお知らせください。